

柏大樹

風雪に耐え、力強く成長する柏大樹のように、私たちも堂々と心豊かに生きていこう

発行
紋別市立渚滑中学校
令和7年2月25日
第11号



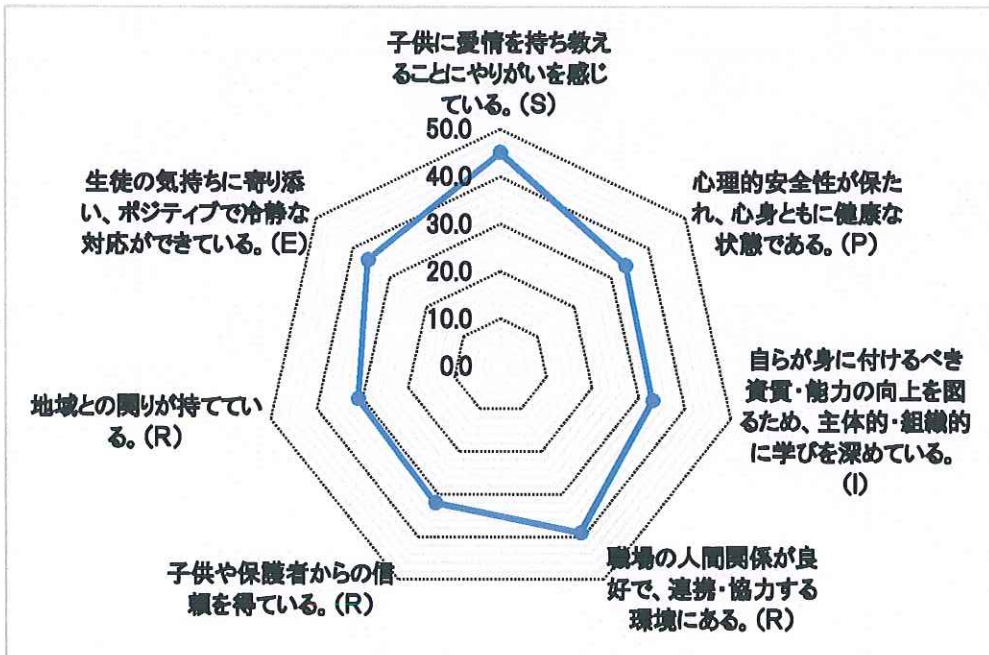
学校 HP

校長 久保大輔

本校教師のウェルビーイングについて～アンケート調査から～

今年度も早いもので、残り1カ月余りとなりました。さて、今年度、本校では、重点教育目標を「自ら創造し支えあい学びあう生徒の育成～心理的安全性のもとでウェルビーイングな学校をめざして～」とし、教育活動に取り組んでまいりました。国の教育振興の柱である「教育振興基本計画(R5～7年)」では、コンセプトとして「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられており、本校においても、今年度の学校経営方針に掲げ、学校運営に関わる個々のウェルビーイングの向上を願いながら学校づくりに取

り組んでまいりました。「ウェルビーイング」は、前号でもご紹介しましたが、身体的・精神的・社会的に良い状態のことで、多様な個人が幸福な状態にあることを意味します。幸福に満ちた生徒、教職員、保護者、地域の皆様が互いにつながり支え合うことは、ウェルビーイングな学校を



つくるうえでとても大切です。第7号(10月)では、「全国学力学習状況調査」で得られた本校3年生の結果についてお知らせしたところですが、今号では、本校教師について皆様と共有を図りたいと思います。

今月、教職員を対象に実施したアンケート調査からは、全員が、子供に愛情を持ち教えることにやりがいを感じております。しかしその一方で、心や時間にゆとりが持ていない状況にあります。そのため、校内研修では組織的な研修を通じて自らの資質・能力の向上が図られておりますが、主体的に研鑽を深めることや、地域との関わりを持つことなどにおいて十分でない状況です。こうしたことから、今後も、「学校の働き方」について検証し、教職員一人一人が心に「ゆとり」を持ち、子供たち一人一人に質の高い教育が展開されるよう努めてまいります。また、子供や保護者の皆様との「信頼」については、本校職員の不祥事もあり、学校といたしましても未だ信頼回復には至っていないと認識しております。引き続き、教職員の服務規律、コンプライアンスの徹底を強化するなどして安心・安全な学校づくりに努めてまいります。

今年度も残り僅かです。引き続き、ウェルビーイングな学校を目指して特色ある教育活動を行ってまいりますので、皆様には、本校の教育活動に対しまして、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後期総合学習発表会・授業参観を行いました

2月7日（金）に後期総合学習発表会と授業参観を行いました。発表会では総合的な学習の時間に行った防災学習について、自らテーマを設定し、調べたことや仮説・自分の考えなどをスライドにまとめ発表しました。生徒たちは皆、ステージ上で緊張しながらも学んだことを立派に発表することができました。当日、ご来場いただきました保護者・地域の皆様ありがとうございました。



スキー学習開始

雪不足のため延期になっていたスキー学習が2月6日（木）・13日（木）・20日（木）、大山スキー場にて行われました。今年も講師の先生方にご指導していただきながら生徒たちは一生懸命に練習に取り組みました。



ガリンコ号乗船体験

2月21日（金）、2年生の生徒たちが海事広報協会のご協力のもとガリンコ号に乗船させていただきました。貴重な体験をさせていただきました。

また、27日（木）には北海道に関わる海事産業についての理解を深めるため、津軽海峡フェリーとのオンライン交流を予定しています。

tetoru（テトル）登録のお願い

連絡用アプリ「tetoru（テトル）」の登録が済みでないご家庭は登録をお願いします。欠席等連絡は原則「テトル」でお受けしますが、内容によっては「お電話」でも受け付けます。

3月の行事予定

3日	月	学習会
4日	火	学年末テスト（1・2年） 公立高校入試（学力）
5日	水	公立高校入試（面接）
6日	木	スポーツ大会
7日	金	職員会議 ICT 支援員来校
10日	月	予餞会（6校時）
12日	水	卒業式総練習 スクールソーシャルワーカー来校
14日	金	第78回卒業証書授与式 （※スクールバス 11:40）
17日	月	公立高校合格発表 1・2年生午前授業（給食あり） 校務部会
18日	火	1・2年生午前授業（給食あり） 職員会議
19日	水	1・2年生午前授業（給食あり） 特別支援委員会
20日	木	春分の日
21日	金	1・2年生午前授業（給食あり） 専門委員会（午後） ICT 支援員来校
24日	月	修了式・離任式 （※スクールバス 10:40）
25日	火	年度末休業（～4月5日）

後期学校評価の結果について

12月に実施いたしました後期の学校評価について、生徒及び保護者、教職員、学校運営協議会委員を対象にアンケート調査を実施した結果についてお知らせいたします。保護者の皆様には調査にご協力をいただきありがとうございました。

【4：そう思う　3：ややそう思う　2：あまり思わない　1：思わない】

領域	質問項目		4	3	2	1
重点教育目標	学校は、重点教育目標「自ら創造し 支えあい 学びあう生徒の育成～ウェルビーイングな学校をめざして～」の達成に向けて取り組んでいる。	保護者	35	65	0	0
		教職員	38	50	12	0
		CS	17	83	0	0
個の理解・個に応じた教育の推進	学校は、生徒一人一人の理解に努め、一人一人に応じた指導に取り組んでいる。	生徒	60	40	0	0
	学校は、生徒一人一人の理解に努め、個に応じた適切な指導の充実に努めている。	保護者	60	30	10	0
		教職員	75	25	0	0
	学校は、生徒が、自分の思いや考えを安心して伝え表現できる環境づくりに取り組んでいる。	生徒	40	47	13	0
	学校は、生徒自らが自分の思いや考えを安心して伝え表現できる環境づくりに努めている。	教職員	63	37	0	0
	学校は、様々な課題を早期に発見し、対応し、その解決に取り組んでいる。	生徒	40	40	20	0
		保護者	40	50	10	0
		教職員	50	38	12	0
	学校は、諸課題等への早期発見、早期対応、早期解決を図っている。	CS	20	80	0	0
		生徒	47	40	13	0
		保護者	40	55	5	0
	学校は、生徒の健康の保持増進、体力の向上に取り組んでいる。	教職員	25	38	37	0
		CS	40	60	0	0
		保護者	63	37	0	0
	学校は、学校の教育活動全体を通じて、生徒の健康の保持増進、体力の向上を図っている。	教職員	25	50	25	0
CS		40	60	0	0	
学校は、個別の指導計画と共に、見通しある支援を行っている。(特別支援教育)	保護者	63	37	0	0	
	教職員	25	50	25	0	
	CS	40	60	0	0	
学校は、生徒の現状や発達段階を踏まえ、より良く生きるための道徳性を養う教育活動を行っている。	保護者	55	45	0	0	
	教職員	38	62	0	0	
	CS	40	60	0	0	
学校は、生徒の一人一人に応じた進路指導(キャリア教育)に取り組んでいる。	生徒	40	60	0	0	
学校は、学ぶことと自己の将来のつながりを見通しながら、発達段階を踏まえて系統的・計画的な進路指導(キャリア教育)を推進している。	保護者	30	60	10	0	
	教職員	38	37	25	0	
学ぶ機会・学ぶ質を高める環境づくり	学校は、担任を中心に、創意工夫ある学級づくりに取り組んでいる。	生徒	67	27	6	0
	学校は、子供一人一人の変化を見逃さず、担任を中心に、創意工夫ある学級経営に取り組んでいる。	保護者	60	35	5	0
		教職員	50	50	0	0
	学校は、すべての生徒がわかる授業をめざし、創意工夫ある授業づくりに取り組んでいる。	生徒	67	33	0	0
	学校は、すべての生徒がわかる授業をめざし、創意工夫ある授業づくりを行っている。	保護者	40	50	5	5
		教職員	50	38	12	0
	学校は、だれもが効果的にICTを活用できる教育活動に取り組んでいる。	生徒	53	40	7	0
	学校は、だれもが効果的にICTを活用できる教育活動を行っている。	保護者	25	75	0	0
		教職員	25	75	0	0
	学校は、巡回図書、図書館司書、学校図書館を活用した読書活動の定着に取り組んでいる。	生徒	47	33	20	0
	学校は、巡回図書、図書館司書、学校図書館を活用した主体的な読書活動の定着に努めている。	保護者	20	75	5	0
		教職員	50	38	12	0
	学校は、防災訓練やヒグマの学習を通じて、安心・安全な学校づくりに取り組んでいる。	生徒	67	33	0	0
	学校は、危機管理意識の向上に努め、迅速・組織的で安心・安全な指導体制の確立に努めている。	保護者	40	50	5	5
		教職員	50	38	12	0
CS		17	83	0	0	
学校は、業務の適正化・効率化を図り、教職員が働きやすい環境づくりに努めている。	保護者	25	60	15	0	
	教職員	13	62	25	0	
	CS	20	80	0	0	

	学校は、生徒一人一人に応じた教育や、地域に愛され地域と共に学びあう学校づくりに取り組んでいる。	生徒	47	53	0	0
	学校は、特認校として、個に応じた教育の充実や、地域に愛され地域と共に学びあう学校づくりを行っている。	保護者	45	50	5	0
		教職員	25	63	12	0
地域と共にある学校づくりの推進	学校は、保護者、地域と学校経営方針を共有し、協働・対話による学校運営の改善、充実を図っている。	CS	50	50	0	0
		保護者	35	60	5	0
		教職員	38	50	12	0
	学校は、地域の人材や施設の効果的な活用、企業との連携を促進し、体験活動や教育活動の充実を図っている。	CS	50	33	17	0
		保護者	25	70	5	0
		教職員	63	37	0	0
	学校は、小学校との連携強化と9年間を見通したきめ細やかな接続をめざし、小中合同の教育活動の充実を図っている。	CS	33	67	0	0
		保護者	30	60	10	0
		教職員	13	37	50	0
		CS	50	50	0	0

〔第2回学校評価結果の考察〕

1、重点教育目標

『学校は、重点教育目標「自ら創造し 支えあい 学びあう生徒の育成～ウェルビーイングな学校をめざして～」の達成に向けて取り組んでいる。』について、概ね肯定的な評価をいただくことができました。普段の学校での教育活動における教職員の取組についてご理解いただけたものと考えております。今後ともご支援ご協力をお願い致します。

2、個の理解・個に応じた教育の推進

全体的には肯定的な評価を多くいただくことができました。しかし、教職員の評価で「学校は、学校の教育活動全体を通じて、生徒の健康の保持増進、体力の向上を図っている。」「学校は、個別の指導計画と共に、見通しある支援を行っている。(特別支援教育)」「学校は、学ぶことと自己の将来のつながりを見通しながら、発達段階を踏まえて系統的・計画的な進路指導(キャリア教育)を推進している。」の3項目においては、やや低い数値となりました。これにつきましては教職員の日々の取組の中で、まだ生徒たちのためにできることがあるのではないかと強い思いの表れと捉えています。これからも健康・体力の向上につきましては保健体育の授業や食育を通して、また、キャリア教育につきましては総合的な学習(職場体験)や進路指導を通して一人一人の個に応じた指導に、より一層取り組んでまいります。

3、学ぶ機会・学ぶ質を高める環境づくり

「学校は、巡回図書、図書館司書、学校図書館を活用した読書活動の定着に取り組んでいる。」につきましては生徒の評価がやや低くなっております。今後も引き続き学校図書館や巡回図書の活用重点的に取り組んでまいります。

4、地域と共にある学校づくりの推進

「学校は、小学校との連携強化と9年間を見通したきめ細やかな接続をめざし、小中合同の教育活動の充実を図っている。」について教職員でやや低めの数値となりました。小中連携におきましては、今後さらに強化していくことが求められており、行事のみならずあらゆる教育活動において取り組んでいかなければならないと考えております。それに向けて今後も継続して課題と対策の検討に取り組んでまいります。